2012

BEAMSENSE®

X線透視装置カタログ

X線透視装置　FLEX−M345

〈特徴〉

・小型部品や基板のX線総合検査（透視・３D断層・３D立体）に最適です。
　電動XYステージ、電動ズーム機能、電動基板チルト機能内蔵
・世界最小クラスの装置の小型化で、顕微鏡のそばに設置出来、快適に使用。
　外形：W350・D450・H550　質量：８０ｋｇ
・パソコンベースのデータ処理で、大容量のデータも簡単処理。

☆ この寸法で3D立体CT機能

☆ 省エネで地球に貢献　200W

☆実験机に設置で身近に使える

設備仕様

項　　目	仕　　様
設備寸法	W350×D450×H550　（mm）
質量	約80（Kg）
対象基板寸法	～L80×W100　(mm)
X線源	密封管式マイクロフォーカスX線源　焦点径　約7μm
撮像部	150万画素平面撮像CCDセンサ　画素寸法20x20μm

※ 仕様および外観の一部を改良のため予告なく変更することがありますのでご了承下さい。

X線透視でリフロー後光学検査を強力サポート

パソコンベースの簡単操作で作業の生産性向上を実現

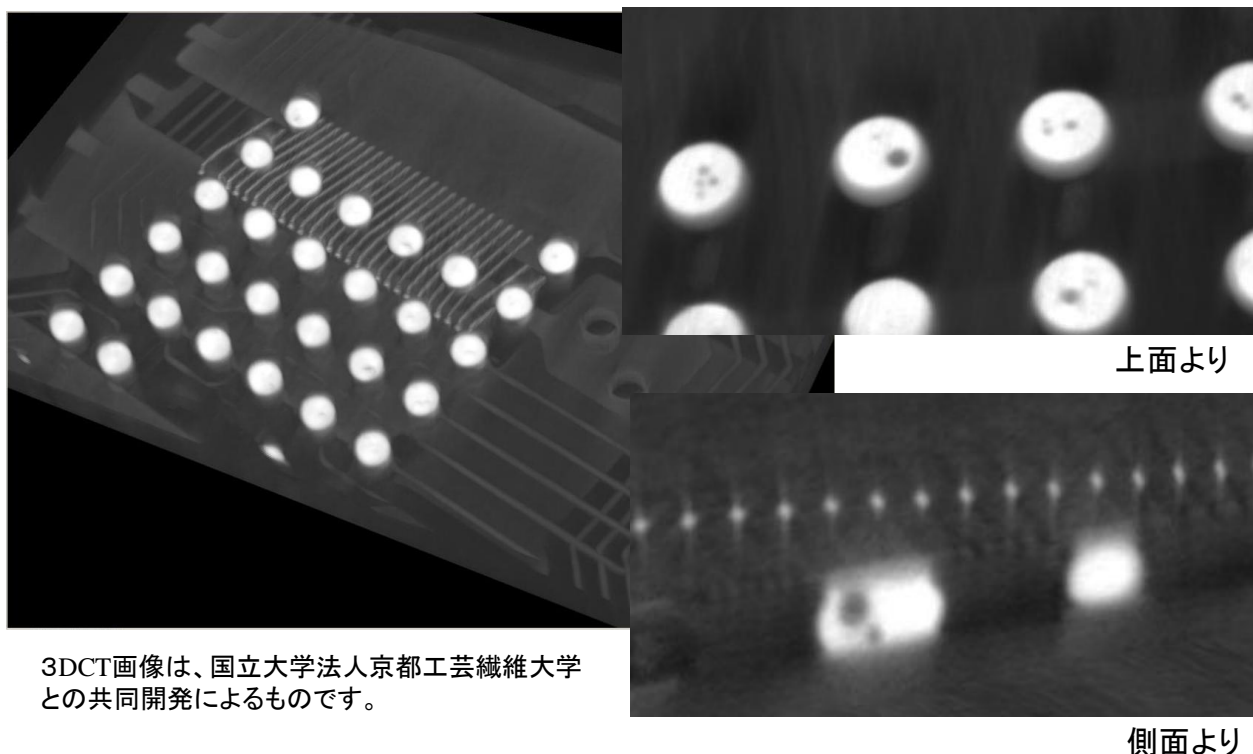
●自動位置教示システムや電動ズーム機能に、さらに電動チルト機能を内蔵して、作業工程や実験机で、見たい方向からのX線透視が、簡単に出来、検査作業を容易にします。パソコンベースにより、画像の保存・転送・編集も簡単です。データを活用してのトレーサビリティーや、検査の自動判定への対応も可能です。消費電力も200Wとパソコン並です。

150万画素の画像と3DCT画像ではんだ状態をクリアに表示

●画素２０μmで１５００（横）Ｘ１０００（縦）の１５０万画素平面撮像ＣＣＤセンサの採用により、幾何倍率１０倍で、２μmの分解能で、再現性の良いＸ線画像を撮影できます。更にオプションの３DCT画像で、はんだ状態を立体的に表示し、半田内部の断面状況を詳しく観察することが出来ます。

X線3D立体CT撮影画像例（SDカードのBGA）

上面より

側面より

3DCT画像は、国立大学法人京都工芸繊維大学との共同開発によるものです。

安全に関するご注意	
●ご使用の際は、取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。	カタログの記載商品を安全に使用して頂くために、取扱いについては稼動時、停止時に拘わらず,設備付属の取扱説明書および設備の警告表示を十分確認した上で正しい作業を実施されますようお願い致します。本装置は、平成13年3月30日基発第253号第３−３第3条関係の(6)のアに記載される遮蔽ボックス付X線透視装置です。設置1ヶ月前までに、管轄の労働基準監督署に、設置の届出を行うことが必要です。

●お問い合わせは・・・

開発・製造　株式会社　ビームセンス
564-0041　大阪府吹田市泉町2-19-16

※ 仕様および外観の一部を改良のため予告なく変更することがありますのでご了承下さい。